



1. プロテクター設置状況（坑内） 2. プロテクター中央移動状況 3. 集塵機・遮音壁設置状況 4. 貫通前のインバート施工状況

蔵玉隧道・拡幅工事〔県単道路改良（幹線）工事〕概要

- 所在地 千葉県君津市蔵玉地内
- 施設管理者 千葉県
- 設計者 サンコーコンサルタント㈱
- 施工者 飛鳥・伊藤特定建設工事共同企業体
- 関係者 国道465号バイパス期成同盟会
- 着工日 2020年12月23日
- 竣工日 2023年3月24日



詳細や他の写真などは
左記の二次元コードから
Webページにアクセスしてご覧ください。

特別賞とは

選考の総合評価の結果
によらず、施工プロセス
を支えた活動や技術開
発など、固有の課題に
対する取組み、いわば
施工プロセスにおいて
「何かキラリと光る取組
み」で特に優れた案件
を特別賞として表彰す
ることとしています。

本工事は、綿密な施工計画の立案
や、導入する設備・建設機械などの
工夫によって、「迂回路のない重要
な国道のトンネルを、車を通しなが
ら拡幅する」という困難な課題に挑
戦し、安全と周辺環境に配慮しなが
ら完工した点が、日建連表彰土木賞
特別賞に値するものと認められた。

活線拡幅は以下の手順で行う。ま
ず、幅一車線分の車路を覆う鋼製
のプロテクターをトンネル軸方向に
設ける。次に、プロテクターの周囲
をモルタルで充填したうえで、反対
車線に当たる部分（起点側から見て
左側）の地山を掘進し、インバート
を打設してトンネル左側を概成さ
せる。その後、新規のプロテクター

を左側に設置し、右側のプロテク
ターを撤去してから、プロテクター
の陰で施工できなかったトンネル右
側の下半を掘削。最後にプロテク
ターを中央に平行移動し、トンネル
全体の覆工を行う。プロテクターが
常時、トンネル内に設けられている
ので、一部の作業で夜間通行止め
になる時を除き、一般車の通行が確保
される。

プロテクターに制限された空間
での施工になるため、狭い場所で作
業可能で、かつ施工機械の入れ替え
が最低限で済むように、一次・二次
吹き付けと支保工の建て込みを連
続的に実施できる「エレクター付き
吹き付け機」を採用した。また、終
点側の坑口周辺に民家があること
から、拡幅部分の貫通前に、上半二
分を鏡吹き付けによって補強してパ
ルクヘッドとして残し、インバート
施工時の遮音壁として活用し、周辺
環境に配慮した。

受賞理由

本工事は、幅員が狭く、一般車の

特別賞 くらだま 蔵玉隧道・拡幅工事 〔県単道路改良（幹線）工事〕

日建連表彰2024



第5回土木賞

土木賞

土木賞は、募集の前年末までに概ね竣工した土木分野のプロジェクト・構造物を対象に、事業企画、計画・設計、施工、及び維持管理などに
関する総合評価により選考を行います。選考に当たり、特に、施工プロセスの視点（施工プロセスの改善、良質な社会資本の効率的創出、土木
技術の発展・伝承など）を重視しています。